

ドラミちゃんへ

四年 後藤 ゆうひ

私とドラミちゃんは、よく似ています。おしゃれが好きなの所、メロパンが大好きな所、気がきくねってほめられる所。

時々、ポケットから変てこな道具を出しちゃう所も似ています。みんなから落ちついてると思われているのに、なぜか失敗しちゃうんだよね。

ドラミちゃん、会いたいな。会っておしゃ

べりしようよ。私、今、困っていることがあるんだ。お姉ちゃんのこと。のび太君にそっくりなお姉ちゃん。私のことをすごくたよっていて、こわがりで、さびしがりで、いはばりんぼ。もうすぐ中学校に行っちゃう。

ドラミちゃんが、ドラえもんやのび太君のことをほっとけないのと同じだと思う。

「ゆうひ、手を出すな。それじゃあ、お姉ちゃんをどんどん悪くさせる。人をたよってばかりいるダメのび太になったらどうする

気だ？

ってパパはおこる。

「めんどうみてやってもらいありがとう」も言

わないし、いじわるだし、あんなお姉ちゃ

んのどこがいいの？

ってママは聞いてくる。

ドラミちゃんなら分かってくれるよね。お

世話したくなる、不思議なもの。うまく言え

ないんだけど、つながっている何か。伝わっ

てくる何か。大好きってことだと思っただけ

と。のび太君もドラえもんもダメ人間じゃな

いよね。ちがうよね。どうして大人は分から

ないのかな。

ドラミちゃん。私の代わりに中学校に行っ

て、お姉ちゃんのこと助けてくれる？うわさ

だと中学校はこわい所らしいから、お姉ちゃ

んみたいなのが他にもいるかもしれない。そ

の子たちも助けてあげてね。私はドラミちゃ

んみたいにお世話する方が好きだから、誰か

困っている子を探してみようね。がんばろうね。